

ミエール 小5国語科学習指導計画（5 時間扱い）

単元名「テレビ出演を通して、自分でもインタビューをしよう」(5 時間扱い)

1・単元の目標

【知識・技能】

目的や意図に応じて、相手に分かりやすく話したり、相手の話の内容を正確に聞き取ったりするために、言葉の選び方や話す順序、声の大きさや速さなどを工夫することができる。

【思考・判断・表現】

目的や場面、相手に応じて話す内容を整理し、必要な質問を考えたり、相手の話を受けて質問を深めたりするとともに、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

相手の立場や場面に応じた話し方・聞き方を意識しながら、進んで話し合いやインタビュー活動に取り組み、互いに伝え合おうとする態度を養う。

2・単元計画(5 時間)

時	本時の目標	学習活動(何を・どのように学ぶか)	評価規準	評価観点
1	インタビューの目的や話し方を理解する。	テレビやラジオのインタビュー体験を参考にしながら、インタビューをする人・受ける人の話し方や聞き方の工夫を見付ける。(あいテレビ出演)	相手に分かりやすく伝えるための話し方や聞き方の工夫を理解している。	①知識・技能
2	相手に応じた質問を考える。	インタビューしたい相手を決め、目的に応じた質問を考える。質問の順序や、話を広げるための質問について話し合う。	目的や相手に応じて質問内容を工夫している。	②思考・判断・表現
3	インタビューやアナウンスを体験する。	インタビュアーとゲストに分かれてインタビューを行う。また、校内放送やニュースを想定したアナウンスにも挑戦し、聞き手に伝わる話し方を工夫する。	声の大きさや話す速さ、言葉遣いを工夫して話している。	①知識・技能
4	場面や役になりきって話す。	物語の登場人物や有名人になりきってインタビューを受けたり、記者会見やラジオ番組を想定した活動を行ったりする。場面に応じた話し方を考える。	場面や相手に応じて適切な話し方や受け答えを工夫している。	②思考・判断・表現
5	学習したことを生かして発表する。	インタビューやアナウンス活動を振り返り、「相手に伝わる話し方」や「よい聞き方」についてまとめ、学習したことを発表する。	相手に伝わる話し方や聞き方を意識し、主体的に伝え合おうとしている。	③主体的に学習に取り組む態度

3・単元の評価規準

観点	評価規準
知識・技能	相手や目的に応じて、話す順序や言葉遣い、声の大きさや速さなどを工夫し、分かりやすく話したり、内容を正確に聞き取ったりしている。
思考・判断・表現	話す目的や場面、相手に応じて質問や受け答えを工夫し、必要な情報を引き出したり、自分の考えを分かりやすく伝えたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	インタビューや話し合い、アナウンス活動に進んで参加し、相手の立場や場面を意識しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。